

あなたと議会を結ぶ情報紙

議会だより

はこね

令和3年11月
No.206



～改選後の議場にて～

主な内容

- 9月定例会 10月臨時会の結果……………P 2～3
- 正副議長・議会運営委員会 委員紹介 ……P 4
- 常任委員会 委員紹介 ………………P 5
- 各議員紹介……………P 6～7
- 一般質問……………P 8～10
- 専決処分議案の説明 ワクチン接種状況等 ……P 11
- 今後の議会予定等……………P 12

専決処分

令和3年度箱根町一般会計補正予算（専決第1号）

補正額 1億3,470万円追加

主な内容

- ①仙石原すすき草原保存事業追加……500万円
- ②箱根湿生花園施設整備事業追加……200万円
- ③経営安定緊急融資事業追加… 1億1,490万円
- ④道路維持経常経費追加……………977万円

条例改正

○箱根町手数料条例等の一部を改正する条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により、地方公共団体情報システム機構が個人番号カードを発行する主体として明確化され、同機構は個人番号カードの発行に関わる手数料を徴収することができることとされたことから町手数料条例から除かれ、その他、番号法の改正に関連する町の条例の一部が改正されました。

補正予算

1. 令和3年度箱根町一般会計補正予算（第2号）

補正額 8億287万3,000円追加

主な内容

- ①ふるさと納税促進事業追加 1億9,883万3,000円
- ②(仮称)小涌谷防災広場整備事業 4,050万円
- ③財政調整基金積立金追加 5億903万5,000円
- ④新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 3,369万2,000円

2. 令和3年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

補正額 1,066万2,000円追加

主な内容

前年度精算分保険料等負担金 1,066万2,000円

3. 令和3年度箱根町介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正額 1,654万円追加

主な内容

国庫負担金等過年度還付金 1,415万5,000円

決算認定

○令和2年度箱根町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定

○令和2年度箱根町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定

人事案件

○教育委員会委員の任命について 上野 里佳さん（湯本在住）（再任）

○人権擁護委員候補者の推薦について 橘川 小夜子さん（元箱根在住）（再任）

○温泉財産区管理会の財産区管理委員の選任
金子義明、上野欽一、大場脩一、勝俣康彦、安藤健、大澤和雄（再任6名）、
安藤雅章（新任）

○宮城野財産区管理会の財産区管理委員の選任
小宮山功、勝俣勉、湯川延和、勝俣孝、依元誠二、瀬戸豊文、勝俣茂（再任7名）

○仙石原財産区管理会の財産区管理委員の選任
酒寄勝男、窪澤吉幸、鮎川勇、勝俣清治、勝俣淳成、市川毅（再任6名）、
崎村康實（新任）

○蛸川財産区管理会の財産区管理委員の選任
阿部佳信、川井美津久、安藤道宣、村田宣男、土屋克夫、菅井清登、
工藤徳男（再任7名）

意見書の提出

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しているため、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方税財源の充実を確実に実現するため、議会提案により、意見書を提出することを決定した。

提出先…衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・経済産業大臣・内閣官房長官・経済再生担当大臣

9月 定例会

会期

8月26日から
9月1日まで
承認(1件)

専決処分
1件

可決(4件)

条例改正
1件

補正予算
3件

認定2件

決算認定
2件

同意(6件)

人事案件
6件

10月 臨時会

会期

①10月1日
②10月12日から14日
承認(1件)

専決処分
1件

同意(1件)

人事案件
1件

可決(1件)

議
1件
議会議事案件

補正予算
1件

10月臨時会①

人事案件

○監査委員の選任

9月29日に任期満了となった小川鶴雄議員の後任として、沖津弘幸議員を監査委員に選任することに同意しました。



専決処分

令和3年度箱根町一般会計補正予算（専決第2号）

補正額 1億8,383万円追加

主な内容

- ①新型コロナウイルス感染症対策生活支援事業 362万円
- ②新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業 40万円
- ③町内経済活性化事業更正減 ▲19万円
- ④中小企業等感染症対策事業 1億8,000万円

10月臨時会②

議会議事案件

○広域行政調査特別委員会設置に関する決議

近隣市町との広域行政に関する諸課題について調査・研究を行うことについて決議しました。

決算認定

○令和2年度箱根町一般会計及び9特別会計歳入歳出決算の認定について

さらに審査が必要と認められたため、決算特別委員会を設置し付託され、閉会中の審査となっています。

報告

○財政の健全化判断比率等について

補正予算

1. 令和3年度箱根町一般会計補正予算（第3号）

補正額 1億2,419万円追加

主な内容

清掃第1プラント施設維持管理事業 1億2,419万円

環境センターの清掃第1プラント1号炉の内部、耐火層、断熱層に剥離、脱落が発生し補修の必要性が生じたため。

議員別議案賛否一覧（賛否等が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）9月定例会

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	沖津弘幸	折橋尚道	石川栄
47	箱根町手数料条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	令和3年度箱根町一般会計補正予算（第2号）	可決	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
51	令和2年度箱根町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
52	令和2年度箱根町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ ○：賛成 ×：反対 —：議長は採決に参加しません。
勝俣公好議員は9月定例会を欠席しました。

新しい議会構成決定!!

この度、10月1日に行われた改選後の議会において、多くの議員諸氏のご賛同を賜り議長並びに副議長の要職に就くこととなりました。

現在の箱根町は、財政難に伴う固定資産税の超過課税をはじめとする様々な課題があり、その課題解決に議会として真摯に取り組まなければならないと考えております。また、二元代表制の一翼としての責務を果たすため、議会運営委員会委員長をはじめとする各委員会委員長との連携を密にし、議会としてあるべき姿を町の内外に示していかなければならないと感じております。

いずれにいたしましても、町民福祉の向上、安心して子育てができるまちづくりのため、また観光客の安心・安全のため、議員相互の議論を深め、合意形成を図るため、責務を全うさせていただく所存でございます。

議員一同、町民の皆さまの負託に応えられるよう全力を尽くして参りますので、町議会に対し変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



議長
山田 成宣

副議長
勝俣 剛一

議会運営委員会



山田和江、村野由紀子、勝俣泰彦、遠藤秀則、
副委員長 川口延明、委員長 折橋尚道

議会運営委員会は、議会を円滑、効率的に運営するために設置されています。

議会の日程や、会期、議案、一般質問の取り扱いなどを議会招集前に協議します。

他にも議会の会議規則や、委員会に関する条例等に関する事項の調査を行い、陳情等も審査します。

任期は常任委員会と同じ2年です。

常任委員会の新しい構成

常任委員会は、本会議の限られた時間で十分に審議し、結論を出すことが難しい議案を、担当となる常任委員会に付託できるよう、議会の予備的審査機関として設置されています。

当町では2つの常任委員会があり、議員は必ずどちらかの委員会に所属する必要があります。
また、任期は2年となっています。

総務企画観光常任委員会

町議会議員選挙により、新しく委員会メンバーが変わり、当委員会に課せられた、企画・観光・総務防災・財務・税務・消防からなる6つの幅広い分野を調査研究し、また、チェック機能を充たす役割を有している委員会です。

昨今の気候変動による自然災害や契約案件等が委員会付託となった時、また、アフターコロナを見据えた観光誘客等は、今後、委員会メンバーにより議論して納税者の立場に立ち、迅速かつ丁寧に委員会運営を行って、公共福祉の増進に邁進したいと思います。

委員長 稲葉 親太郎



勝俣陽二、川口延明、山田和江、沖津弘幸、山田成宣、
副委員長 村野由紀子、委員長 稲葉親太郎

教育福祉環境常任委員会



佐藤章子、鈴木美貴、折橋尚道、小川鶴雄、勝俣剛一、
副委員長 勝俣泰彦、委員長 遠藤秀則

私たち委員会も新しく構成された7名のメンバーにおいて、閉会中の継続調査となっている多くの課題に以下の項目等の調査研究を行ってまいります。

1. 少子高齢化
2. 教育施策
3. 環境問題
4. さくら館の有効活用

委員長 遠藤 秀則

4 佐藤 章子 議員



①仙石原1246 ②84-9833
 ③無所属 ④無会派(1回)
 ⑤読書、日本舞踊
 ⑥箱根は風光明媚で世界に名だたる観光地であるが、町民にとっては教育、医療、インフラ等充実しているとは言いがたい。今後はデジタル化を推進させて暮らしやすい箱根にしたいです。加えて日本文化である「向こう三軒両隣」を再構築させ、年代を超え皆が安全で滲刺と生きられる箱根町にしたいです。

5 川口 延明 議員



①箱根175 ②83-6208
 ③無所属 ④緑風クラブ(3回)
 ⑤山歩き、旅行
 ⑥「今こそ箱根に活力を」コロナ禍により低迷する観光地「箱根」を日本で一番に復活させたい。

6 勝俣 剛一 議員



①宮城野507 ②82-4650
 ③無所属 ④緑風クラブ(5回)
 ⑤スポーツ、旅行
 ⑥何事にも誠実に

議席番号

氏名

写真

任期
 令和3年
 9月30日
)
 令和7年
 9月29日

①住所 ②電話番号
 ③党派 ④所属会派(当選回数)
 ⑤趣味
 ⑥抱負等

8 村野由紀子 議員



①仙石原359-5 ②84-4545
 ③公明党 ④無会派(5回)
 ⑤読書、書道、山歩き
 ⑥一人ひとりに寄り添いながら、皆様を応援しながら取り組みます。女性として、母親として、生活者の目線で議会で発言し今まで以上に頑張ります。

12 折橋 尚道 議員



①宮ノ下310 ②82-2654
 ③無所属 ④至誠会(6回)
 ⑤洋ラン作りと園芸、DIY、スキューバダイビング
 ⑥20年間の議員経験を活かし、災害に強い町づくり、教育福祉の向上、観光促進に力を発揮していきます。好きな言葉は「志操堅固」

13 沖津 弘幸 議員



①湯本698-1 ②85-6648
 ③無所属 ④至誠会(9回)
 ⑤歴史、旅行
 ⑥「オール箱根」おもてなしの心いいきと暮らせる寛容な町スポーツ観光住民に最も頼りにされる議会至誠・感謝

14 山田 成宣 議員



①元箱根110-244 ②83-5006
 ③無所属 ④至誠会(4回)
 ⑤ゴルフ、釣り
 ⑥みなさまの代弁者、民意が第一の政治を。教育の充実、観光振興、伝統文化の継承以上を念頭に提言する次の町政、皆様と共に歩み続けます！！



1 山田 和江 議員

①宮城野310 ②82-1792
③日本共産党 ④日本共産党(10回)
⑤料理研究、読書、温泉地めぐり
⑥これからの4年間、掲げた公約実現のため、「住民こそ主人公」の立場でみなさんと力を合わせ全力をつくします。高校生までの医療費無料化、高齢者の交通費負担軽減、保育園、学童保育の充実、災害対策、湿生花園の町直営化等の実現をめざし国に対しても観光地の負担軽減を求めて参ります。平和産業発展のため憲法9条を守るためにも全力をつくします。



2 鈴木 美貴 議員

①湯本77-1 小川ハイツ102
②85-8041
③日本共産党 ④日本共産党(1回)
⑤読書、料理
⑥初心忘れるべからず
住民が主人公、苦難軽減を目指して頑張ります。



3 勝俣 陽二 議員

①仙石原1069 ②83-9343
③無所属 ④無会派(1回)
⑤旅行、ウォーキング、ジョギング、ウェイトトレーニング、読書
⑥「一日一生、日々元旦」
箱根町に住んでいる子どもたち、これから生まれてくる子どもたちに対して「活力ある箱根町」のバトンを渡すために、精一杯、全力で頑張ります。



7 小川 鶴雄 議員

①湯本205-3 ②85-5811
③無所属 ④緑風クラブ(6回)
⑤盆栽、自家菜園、旅行
⑥安心安全で、安心して暮らせる町づくり
箱根に活力を、観光立町箱根の復活を！！
至誠勤労、有言実行

町民の代表14人 新議員の顔ぶれ

『皆さんの声』を 町政に反映します！



9 勝俣 泰彦 議員

①仙石原1111 ②84-8148
③無所属 ④至誠会(2回)
⑤旅行、音楽鑑賞、ゴルフ
⑥初心忘るべからず
出逢いそして今を大切に、一期一会
初心貫徹の精神で2期目に挑みます。
「箱根の明るい未来を創る」ために全力で頑張ります。



10 稲葉親太郎 議員

①強羅1320-671 ②86-0222
③無所属 ④至誠会(4回)
⑤読書、魚釣り、ゴルフ
⑥4期目も3期目同様に熱き想いを実行へをスローガンに、山積する行政課題解決に地域の皆様と協働により箱根の未来をより良くするために頑張ります。

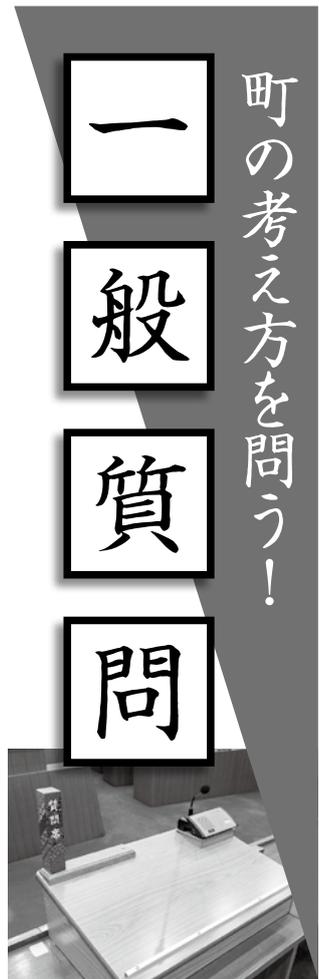


11 遠藤 秀則 議員

①宮城野918-13 ②87-6540
③無所属 ④至誠会(4回)
⑤スキー、ダンス
⑥対話と行動、安心して住める環境づくり、少子高齢化の取り組み

9月定例会では、町政全般へ4人の議員が、9項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
折橋 尚道	<ul style="list-style-type: none"> 改訂された土砂災害・洪水ハザードマップの活用について 町内の民泊・ゲストハウスの現状と今後 	8
川端 祥介	<ul style="list-style-type: none"> 箱根町の温泉熱利用について 災害と温泉供給について 箱根町の温泉経営について 	9
村野由紀子	<ul style="list-style-type: none"> 箱根町人口ビジョンを踏まえて策定された箱根町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 	
山田 和江	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策について 防災対策について 箱根湿生花園を町直営で行うことについて 	10



※ **Q** は議員の質問、 **A** は町側の回答です。

ハザードマップの利用と民泊ゲストハウスの現状と今後

町 — マップの理解を深めることと、民泊・ゲストハウスとの共存を図る

Q は、管理者が常駐している施設と管理者無人とで違いはあるが、宿泊客による夜の騒音やごみの出し方などの苦情が、管理者無人の施設で、多く近隣住民から寄せられている。地域と友好な関係を構

A 町長 ハザードマップは、見て、考えて、確かめて、書き込んで活用していくもので、今後の防災出前講座で、使い方を学ぶ科目を実施し、町民への普及を図る。希望する団体には出張講座を開くなど考えている。

Q 改訂されたハザードマップは、「想定し得る最大規模の降雨」による土砂災害や洪水氾濫被害を減らすことを目的とし、土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域・避難所・避難場所などの情報を記載したマップの利用法や、レッド・イエローゾーンは、実際の生活に影響は生じるか。



A 町長 民泊は今後増える状況ではなく、許可制のゲストハウスは増加していく。いずれも町内では違法な施設はなく、苦情等は、小田原保健福祉事務所へ情報提供を行い、調査・指導を任せている。町として、順守すべきルールをまとめた「民泊の手引き」を作成しているの、今後「ゲストハウスの手引き」のようなものを作っていく。

A 町長 民泊は今後増える状況ではなく、許可制のゲストハウスは増加していく。いずれも町内では違法な施設はなく、苦情等は、小田原保健福祉事務所へ情報提供を行い、調査・指導を任せている。町として、順守すべきルールをまとめた「民泊の手引き」を作成しているの、今後「ゲストハウスの手引き」のようなものを作っていく。



折橋 尚道 議員

災害により被災した温泉の安定供給策について

町 — 民間事業者と町行政が、連携しながら適正な対応に努める



川端 祥介 議員

Q 箱根町内の温泉供給施設の一部が、自然災害により被災して供給を受ける宿泊施設等への影響が災害の度に起きている。

A 町長 「温泉」という大切な資源は、観光地箱根にとって「生命線」の一つであることは、疑う余地はない。これを将来に渡って安定的、持続的に確保・供給していくためには、温泉という資源に関わる施設維持管理のハード面と、資源保全のソフト面、双方の取り組みが必要不可欠であると考えておりますので、民間事業者と町行政とが連携しながら、引き続き適切な対応に努めていく。

Q 箱根町の温泉経営の安定化をどのようにするか。

A 町長 「温泉」という大切な資源は、観光地箱根にとって「生命線」の一つであることは、疑う余地はない。これを将来に渡って安定的、持続的に確保・供給していくためには、温泉という資源に関わる施設維持管理のハード面と、資源保全のソフト面、双方の取り組みが必要不可欠であると考えておりますので、民間事業者と町行政とが連携しながら、引き続き適切な対応に努めていく。

Q 町長 新規加入者の獲得に努め、基金の積み立てを行っていく。

A 町長 事業安定の具体的な考え方は、新規加入者の獲得に努め温泉使用料が減少しないように取り組む。歳出面では、保守点検を定期的に実施して歳入・歳出のバランスを見ながら基金の積み立てを可能な限り行っていく。

Q 順調な蒸気井の噴出により、当町では安定的な経営が見られる。

A 町長 事業安定の具体的な考え方は、新規加入者の獲得に努め温泉使用料が減少しないように取り組む。歳出面では、保守点検を定期的に実施して歳入・歳出のバランスを見ながら基金の積み立てを可能な限り行っていく。



町外からの移住者を増やす取り組みとともに町外への転出の抑制を

町 — 町が一丸となって様々な施策を複合的に実施していく



村野 由紀子 議員

Q 移住希望者に実際に箱根町に住んで頂くお試し居住制度、2年度は募集定員7組に対して10倍をこえ、この体験プロジェクトをきっかけで、3組の方が移住されたとのこと。若干少ないように思うが、理由を伺う。

A 企画課長 体験をしてすぐに移住する方はこの市町村でも少ないと伺っている。仕事の調整や住居探しなど時間がかかると思われる。一方、希望物件さえあれば、すぐに移住したいと言う方も増えている。物件探しなど参加者のフォローを行い、移住者の増につなげたい。

Q 空き家所有者の意識を変え、空き家活用のための物件の掘り起こしが必要、対応は。

A 企画課長 平成29年度の空き家実態調査では、251件。現在の正確な数字はつかんでいないが、当時よりは増えていると推察する。空き家対策の一環として実施している空き家バンクなどの課題として空き家は増えているものの流通に至らない、物件数の少なさなどが挙げられる。町では、空き家所有者の方々に空き家活用の周知等を図り民間団体にも協力頂きながら空き家解消につなげていく。

Q 箱根町に長く住み続けたいため家屋の外壁塗装の助成などできないか。

A 企画課長 神奈川県内の状況は、6市町村で外壁塗装の助成金制度がある。今後研究したいと考える。



移住体験交流施設 cotoha

幼児施設、小中学校、学童保育での定期的なPCR検査を！

町 — 保育士、教職員等にワクチンの優先接種を行っているので、PCR検査を実施する考えはない



山田 和江 議員

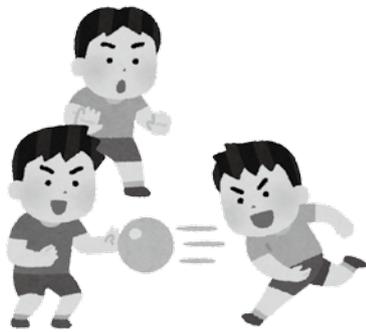
Q 新型コロナウイルス感染爆発が全国に広がる中で五輪に続きパラリンピックも開催された。五輪は人流抑制に対して外出してもいいとのメッセージを与え感染者が急増し、感染力の強いデルタ株に置きかわっていると言われてい

A 町長 これまでの答弁と同じになるが、PCR検査は検査時点の感染状況を把握し、その後の適切な処置や対応をとるためのもので、感染の不安を解消するものではない。また、幼児施設、小中学校、学童保育に勤務する職員への定期的なPCR検査を行う考えは。

る。マスクの着用や外出自粛を呼びかけるだけでは感染は収まらない状況だ。命と暮らしを守るために今こそ科学的力を取り入れることが必要だ。PCR検査を大規模に行うこと。せめて幼児施設、小中学校、学童保育に勤務する職員への定期的なPCR検査を行う考えは。

Q 7、8月の大雨で芦ノ湖の水位はすぐに避難判断水位となってしまう状況だったが、昨年の12月に町と議会が県に出した意見書で4者協議が進んでいると聞いている。芦ノ湖の水位を1.9mにする協議はできないか。

A 総務防災課長 町では芦ノ湖の水位を1.6m〜1.9mで管理を要望している。



広域行政調査特別委員会

広域行政調査特別委員会の前身は、平成13年に当時道州制がわからぬ話題にされていた時で、議会としても市町村合併について検討することとなり、設立したのが始まりとなります。これにより、箱根町議会では、20年もの間継続されている、息の長い特別委員会となります。

特別委員会も協議会に合わせ、市町議会が、それぞれの特徴を持ち寄り、補いながら発展を目指していく議会であるべきとして、熱海市・湯河原町とともに活動しています。

その後、合併の話が下火となり、平成17年に熱海市と共同で広域行政推進協議会の設立がされる事になりました。平成23年には、協議会に湯河原町を迎え組織され、私たち

委員長 折橋尚道



10月1日 専決処分議案の説明

10月1日に開催された、臨時議会において町側より議案第61号として、専決処分の承認を求めることについて上程された。

提案理由は、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている町民や町内事業者への支援など、早急に対応する必要がある予算について、既定予算を補正する必要性が生じたため。

1. 新型コロナウイルス感染症対策生活支援事業 362万円

新型コロナウイルス感染症により生活に影響を受けている町民に対し、食品等の配布や生活相談など生活支援を行う。

2. 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業 40万円

自宅療養者に対し食料品等の支給、パルスオキシメーター等の貸与、ごみの戸別収集などの支援を行う。

3. 町内経済活性化事業更正減 ▲19万円

町内の箱いこクーポン登録店舗で利用可能なクーポン券のプレミアム率を上げることにより、販売価格が下がりカード決済手数料に減少分が出たもの。

※当初1万円分のクーポン券を1セット8,000円で販売を予定していたものが1セット7,000円で販売

4. 中小企業等感染症対策事業費 1億8,000万円 (20万円×900件)

新型コロナウイルス感染症の影響により、町内で売上が対前年若しくは対前々年比20%以上減少し、今後も事業を継続する予定のある店舗を対象に、行動制限の緩和に伴い生じる対処策諸経費等を交付する

町内の新型コロナウイルス感染者の状況とワクチン接種状況

10月5日の全員協議会において報告がありました。その際の資料から抜粋したものを掲載しています。

町内の感染者の状況 (令和3年9月30日現在) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	合計
R2年度	2	1		3		1	1		2	11	1	2	24	79
R3年度		15	5	3	31	1							55	

【参考】令和3年8月の感染者 (31人) の年代別内訳

10歳代: 1人、20歳代: 13人、30歳代: 9人、40歳代: 3人、50歳代: 5人、60歳代以上: 0人

≪31人中、20歳代と30歳代は22人で、8月中の感染者の71%となっている≫

	対象人数	1回目		2回目	
全年代 (12歳~)	10,653人	8,544人	80.20%	7,315人	68.67%

(令和3年9月30日現在の接種率)



芦ノ湖の現在水位の計測点をご存じですか？

水位計測は芦ノ湖の真ん中ほどの龍宮殿付近の湖畔に機器が設置され、常時神奈川県の小田原市内の施設で監視を行っています。氾濫危険水位に達すると見込まれた場合は、町の防災行政無線で放送され、湖尻水門が開きます。

(投稿者 川口 延明氏)

広報広聴委員会



勝俣陽二、稲葉親太郎、遠藤秀則、勝俣剛一、
副委員長 川口延明、委員長 勝俣泰彦

11月発行・206号から新メンバーでのスタートです。

これまでの編集活動で培ったノウハウを踏襲しつつ、「より分かりやすく・より親しみやすい」議会だよりの編集を心がけてまいります。また、広聴活動におきましては、住民の参加意識が持てるよう開かれた広聴会を目指してまいりますので、2年間の任期ではありますが、ご指導の程よろしくお願い致します。

委員長 勝俣 泰彦

今後の議会の予定

～ 決算特別委員会開催日～
11月1日(月)、2日(火)、9日(火)



～ 12月定例会開催日(予定)～
11月30日(火)、12月7日(火)、10日(金)

※12月定例会会議開催日は、11月22日(月)開催予定の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。

詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。